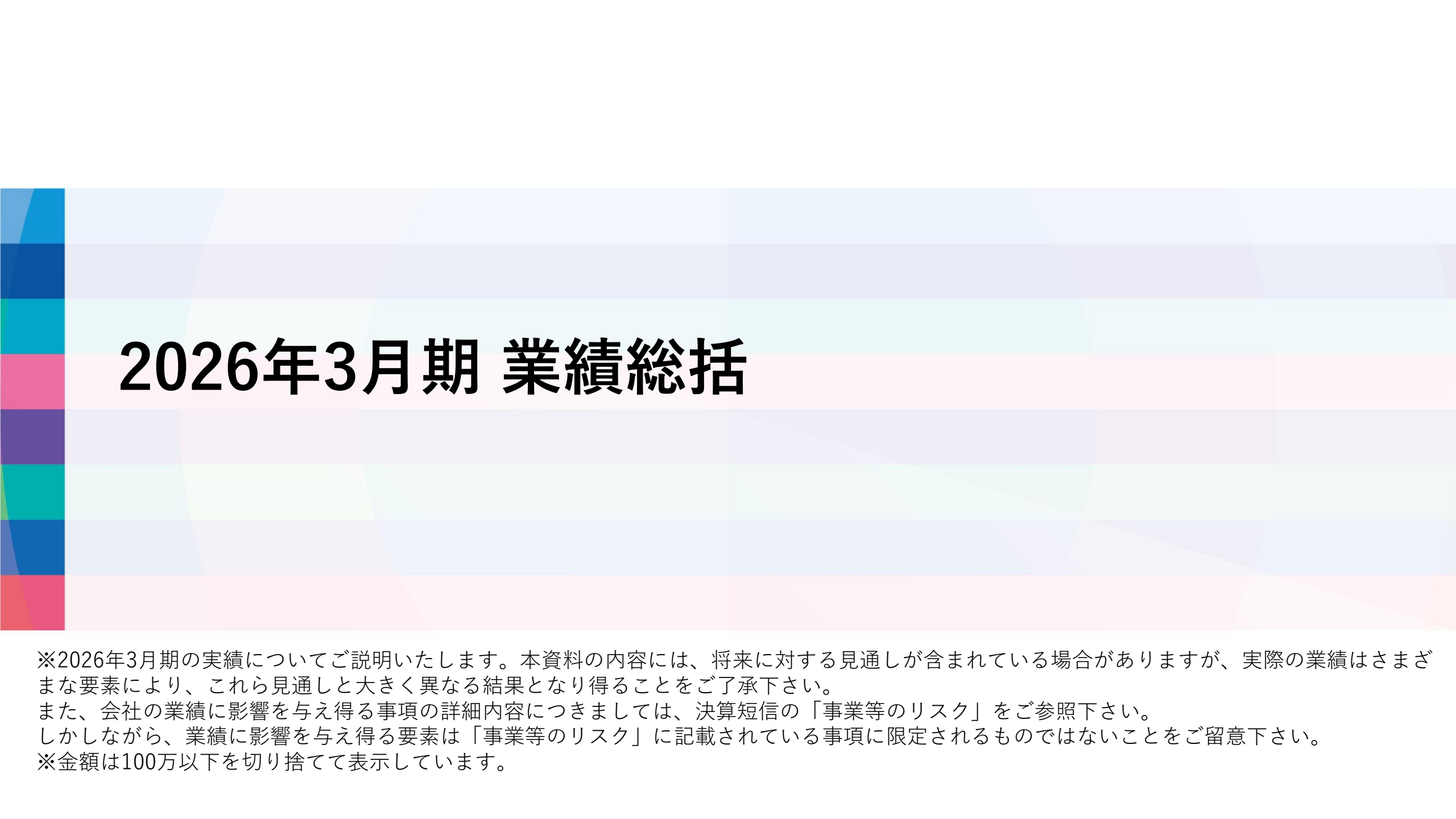


2026年3月期決算 補足資料

～データと一緒にワクワクする未来へ！～

STANDARD
CODE:3848

DAL
Data Applications Company, Limited



2026年3月期 業績総括

※2026年3月期の実績についてご説明いたします。本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。

また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。

しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※金額は100万以下を切り捨てて表示しています。

連結業績ハイライト

売上高

4,322 百万円

< 前年同期比 + 65.8% >

< 予想比 ▲3.9% >

< 全体 >

- ・ 前期比では大きく上回る
- ・ 計画値はやや下回る

< ソフトウェア事業 >

- ・ サブスクリプションの大型案件は少ないものの、順調に推移

< 上記以外の事業 >

- ・ 売上計上基準の調整が影響

営業
利益

276 百万円

< 前年同期比 ▲15.9% >

< 予想比 ▲1.1% >

< 全体 >

- ・ 事業拡大に伴う人件費増加、M&A関連費、のれん償却費が影響
- ・ コスト管理の徹底、適正なコストコントロールは継続中

経常
利益

324 百万円

< 前年同期比 ▲9.9% >

親会社株主に
帰属する
当期純利益

156 百万円

< 前年同期比 ▲41.8% >

EBITDA
※

481 百万円

< 前年同期比 + 9.2% >

< 予想比 ▲3.7% >

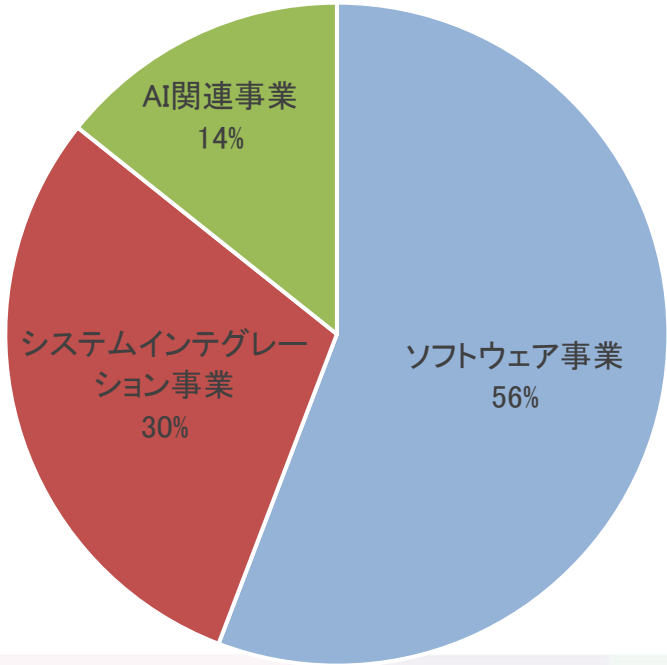
※営業利益276M + 償却費183M + 株式報酬費用21M

連結売上高の内訳

■ 事業ポートフォリオの多角化が着実に進む

(百万円)

	ソフトウェア事業	システム インテグレーション 事業	AI関連事業	合計
売上	2,492	1,335	638	4,466



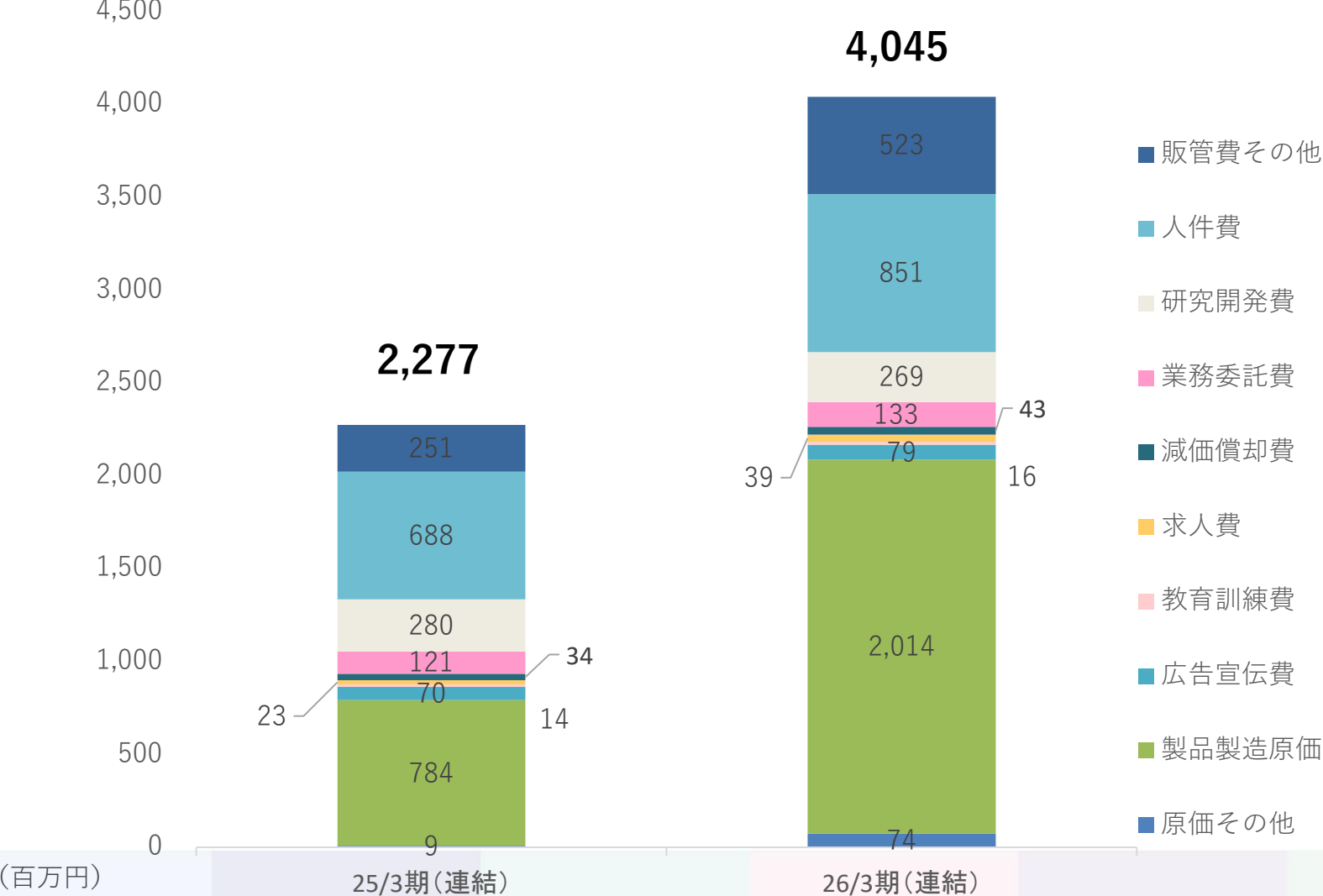
※記載の売上高は、内部取引を含むセグメント合計値です（連結調整前）。

※連結調整：▲144百万円

連結総費用の推移

■粗利率（売上総利益率）は51.67%（前期69.54%）、営業利益率は6.41%（前期12.63%）、EBITDAマージン11.2%

※M&AによるSI・AI関連事業の連結により、事業構成が変化し、製品製造原価（労務費含む）・人件費増・のれん償却費等が利益率を押し下げ



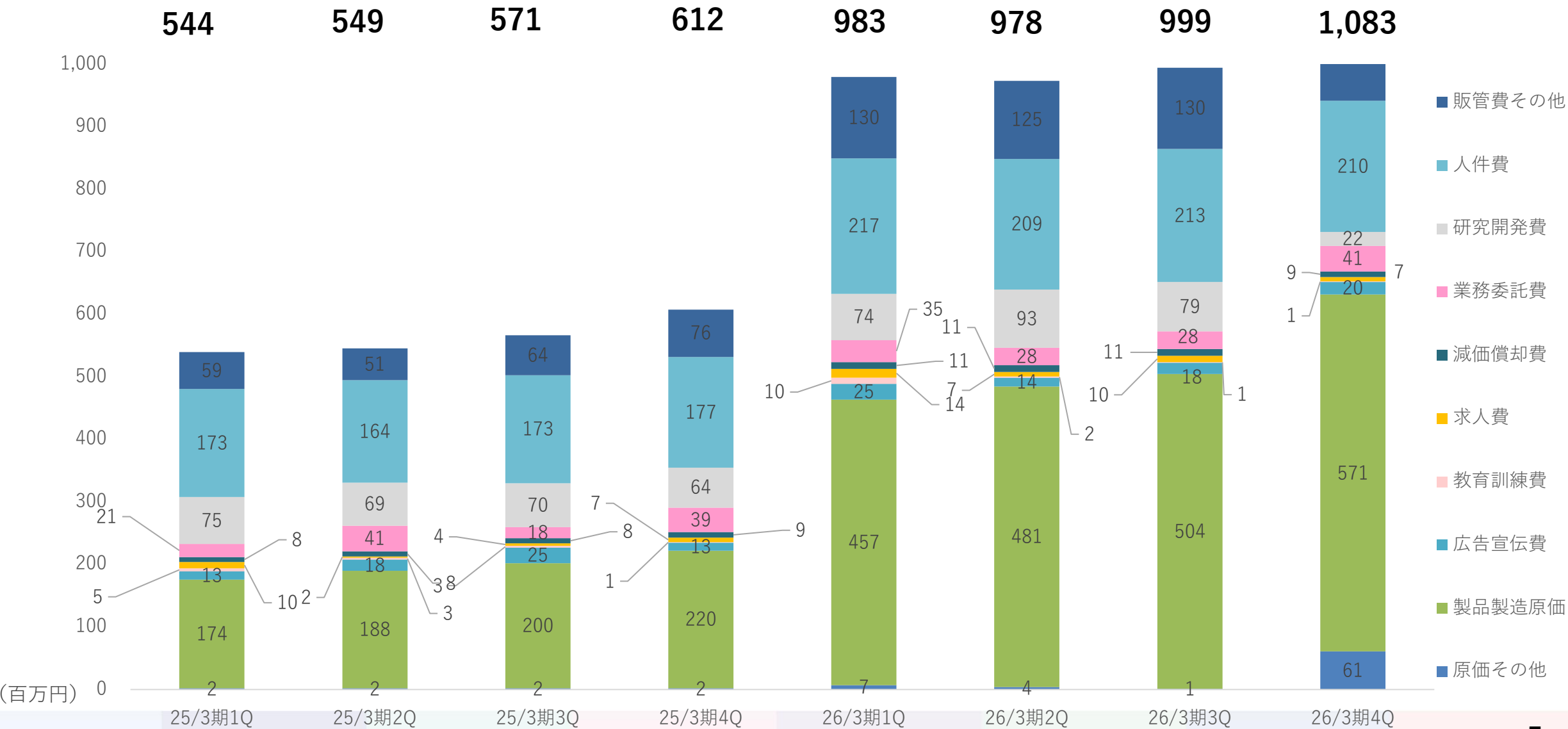
販管費

- ・ 事業拡大に伴い人件費、求人費が増加
- ・ 新製品・新サービスACMS Cloud、Placulの開発が一巡し、研究開発費は減少
- ・ 人的資本経営強化のため教育訓練費が増加
- ・ 販管費その他は、のれん償却費の計上により増加

原価

- ・ 3社M&Aに伴う連結範囲の拡大により増加（主に製品製造原価）

参考：連結総費用の四半期推移

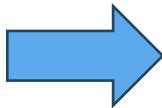


連結貸借対照表（B/S）

- 総資産7,037百万円、純資産5,024百万円
- 子会社M&Aにより550百万円ののれんが発生し、固定資産が増加
- 前受金の増加で流動負債が拡大
- 純資産は株式交付・評価益・子会社化で増加

2025年3月期（連結）

流動負債 1,137	現預金 3,828
固定負債 265	
純資産 4,775	
	その他流動資産 397
	固定資産 1,954



2026年3月期（連結）

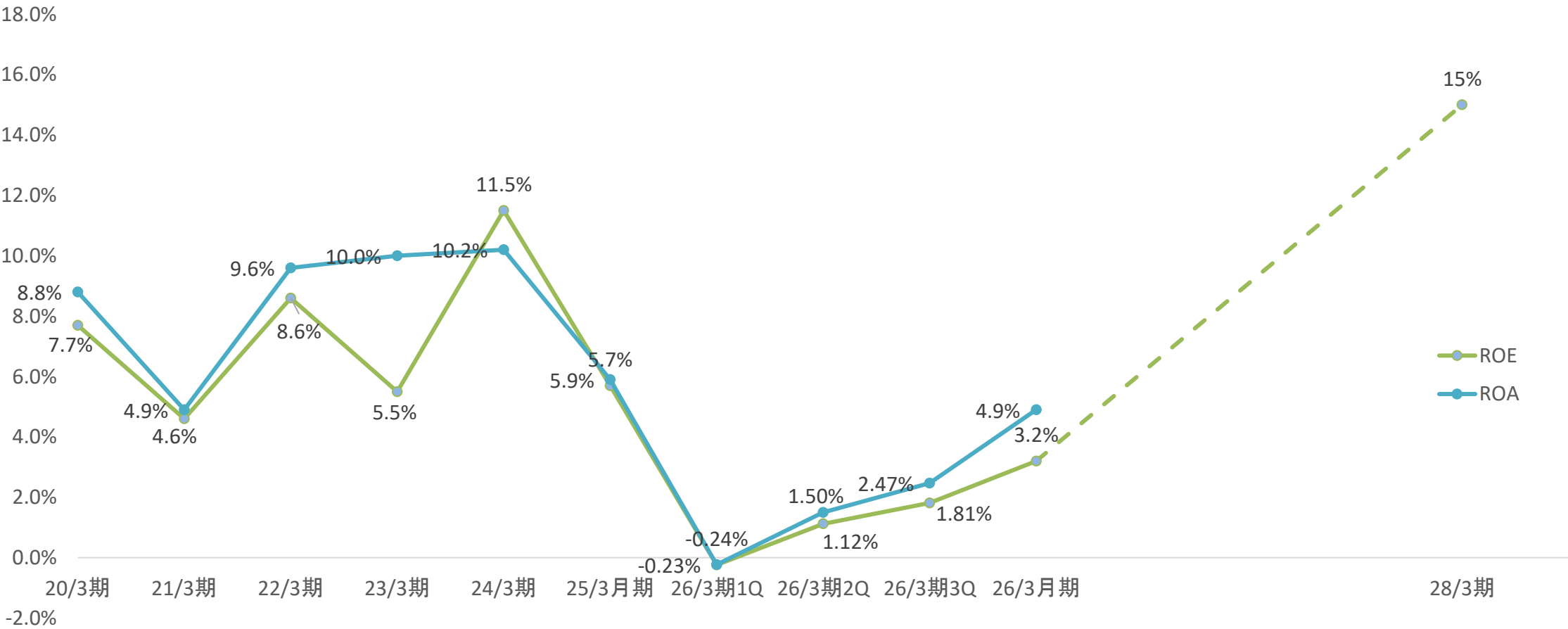
現預金 4,152	流動負債 1,688
	固定負債 324
	純資産 5,024
その他流動資産 852	
固定資産 2,032	

（単位：百万円）

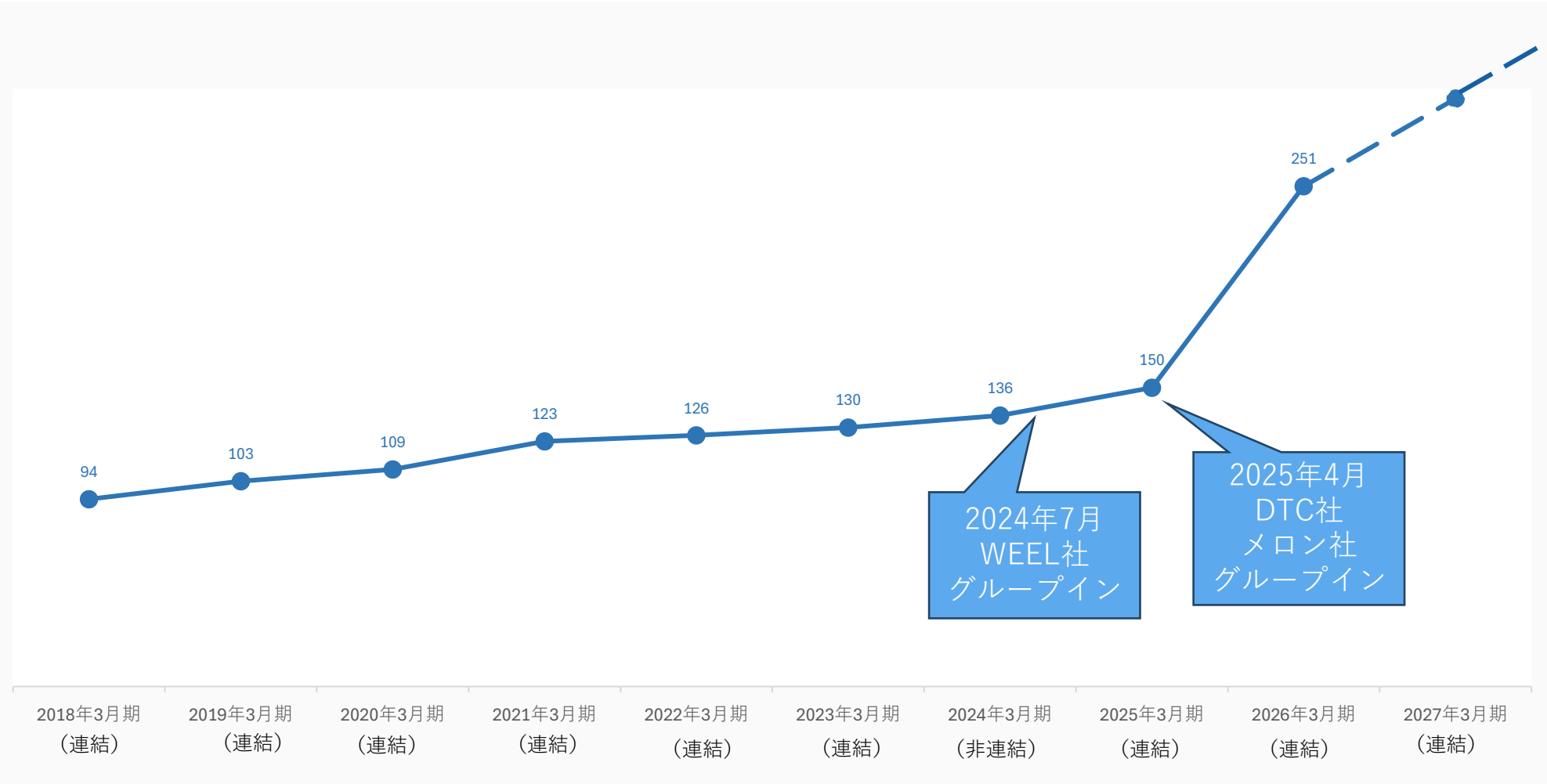
各指標（ROE・ROA）の推移

■自己資本比率68.4%

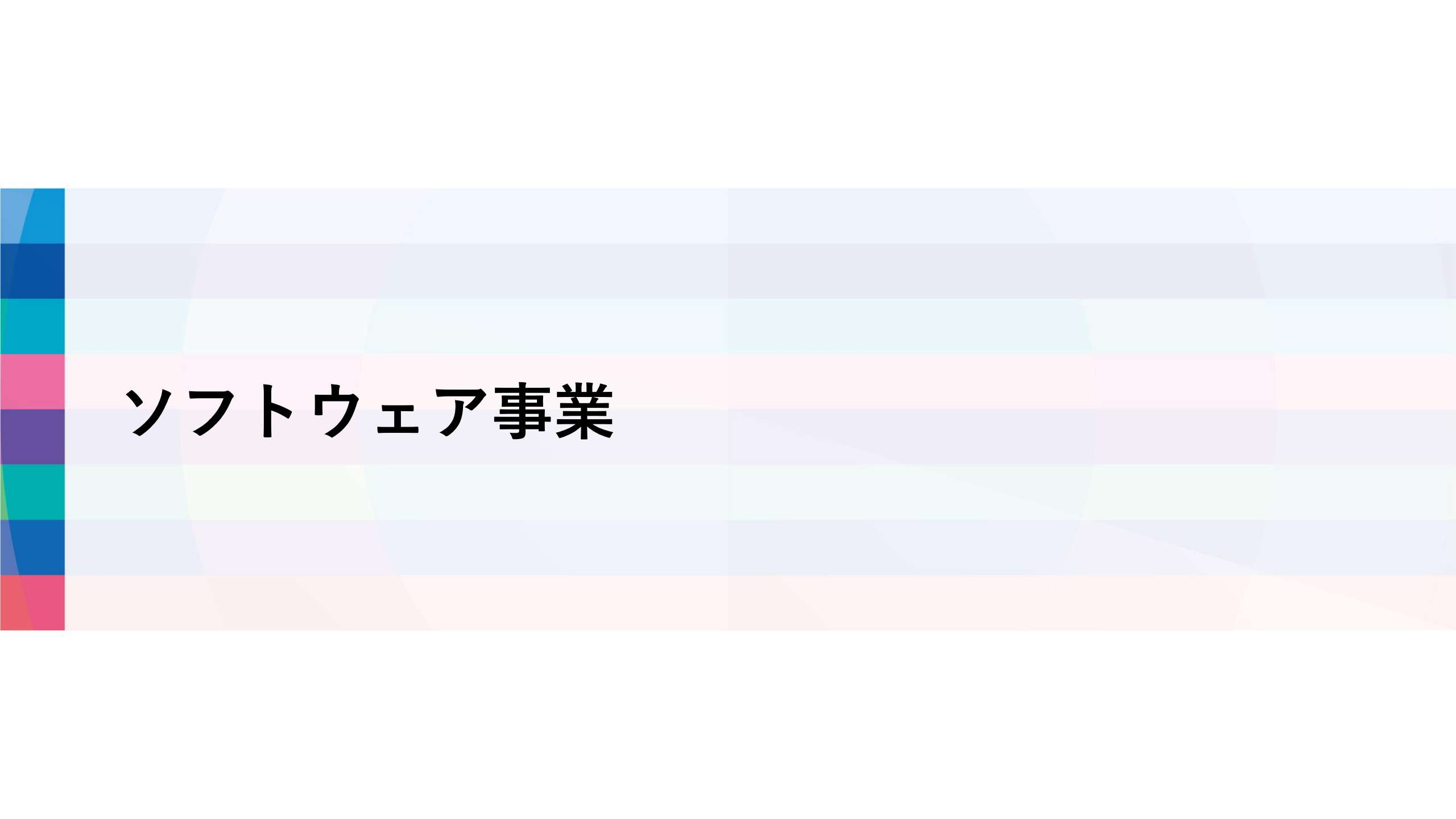
中期経営計画の目標値
※ROAは非開示



人員推移



※従業員数は各期末時点。M&Aは期中・期首により反映時期が異なります。

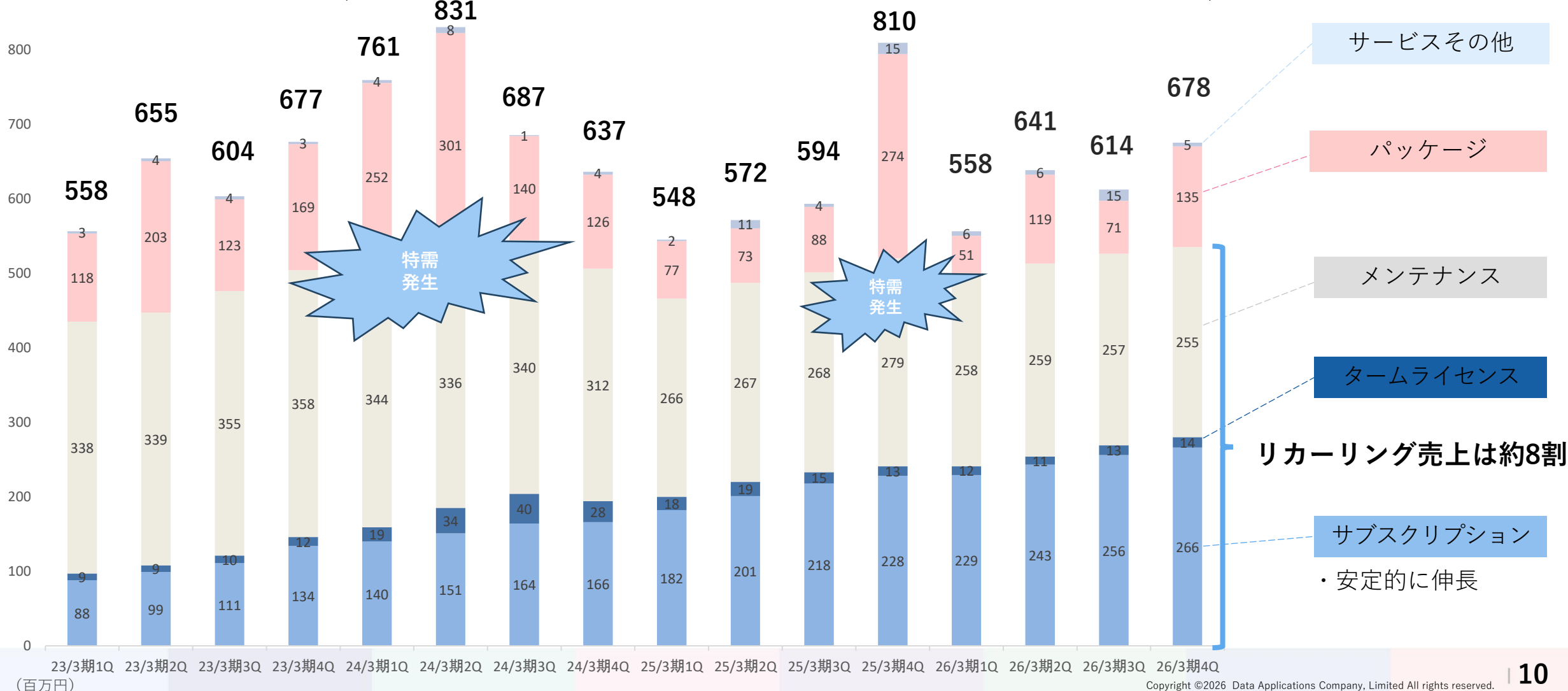


ソフトウェア事業

売上構成

※25/3期2Q（中間期）以降は連結期間ですが、売上構成はソフトウェア事業のみを対象としています。
 ※記載の売上高は、内部取引を含むセグメント合計値です（連結調整前）。

■リカーリング売上（サブスクリプション・メンテナンス・タームライセンス）比率は約8割



サブスクリプションMRR（Monthly Recurring Revenue：月次経常収益）

■ 安定的な受注の積み上げにより、MRRは期末時点で89百万円まで拡大



(百万円)

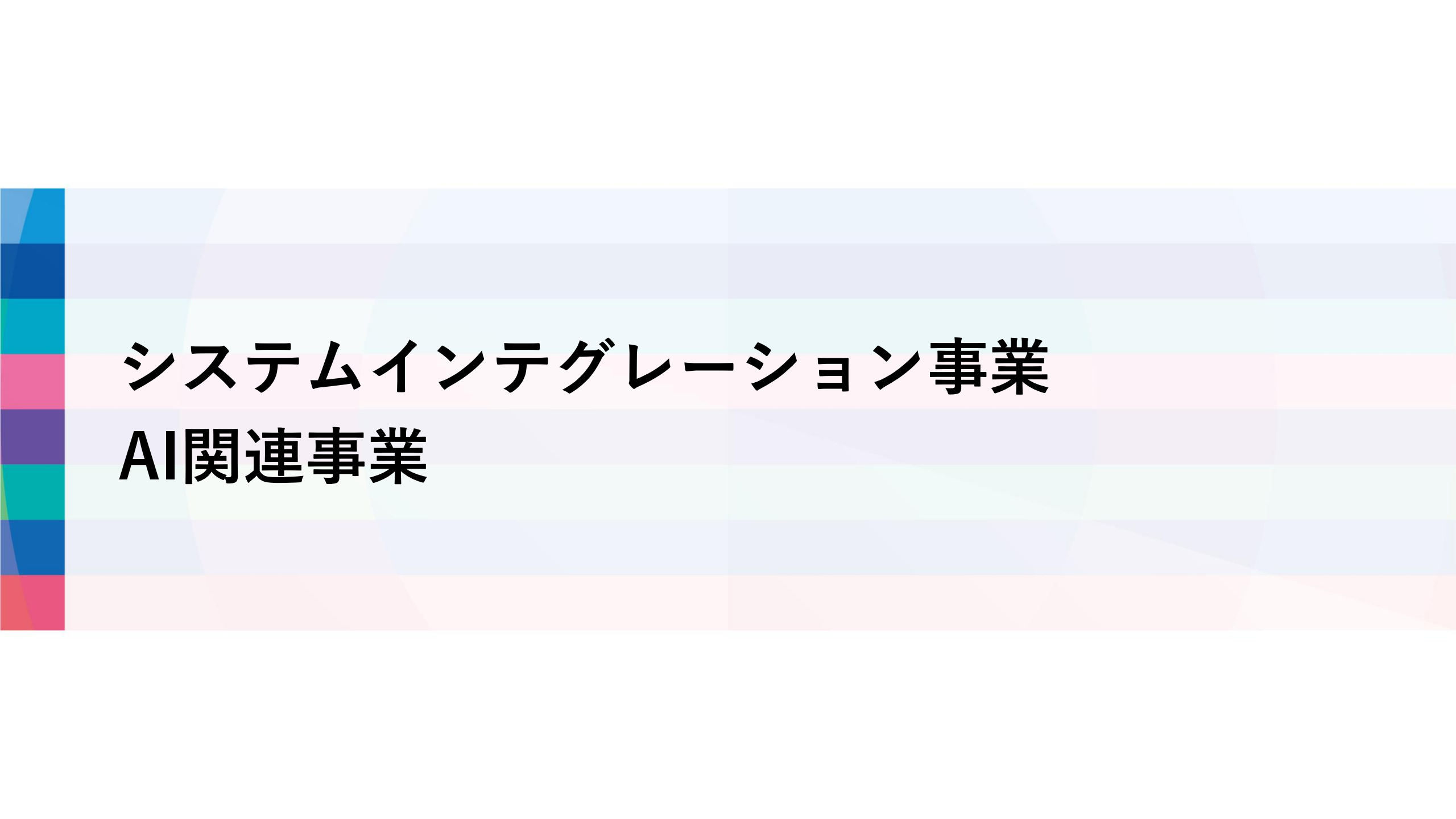
製品別売上構成

■ 戦略製品売上高は、ACMS Apexの拡販により、前期比20.3%増 (百万円)

	25/3期		26/3期		前期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
戦略製品合計 ACMS Cloud ACMS Apex RACOON Placul	595	42.2%	715	50.1%	20.3%
その他製品 (ACMS WebFramer・ACMS B2B・AnyTranなど)	815	57.8%	712	49.9%	▲12.6%

※新規売上であるパッケージ（売り切り）、サブスクリプション、タームライセンスの合計値で集計しています。
（メンテナンス、サービスその他を除く）

※26/3期4QよりACMS Cloud・Placulの売上を含めて集計しています。



システムインテグレーション事業

AI関連事業

売上構成 ※記載の売上高は、内部取引を含むセグメント合計値です（連結調整前）。

(百万円)

	システム インテグレーション事業	AI関連事業
売上	1,335	638
営業利益	81	75
のれん償却	24	71

【システムインテグレーション事業】

売上は売上計上基準の調整により計画値を下回ったものの、案件の進捗は堅調に推移。内製化の推進を含むコストコントロールの強化により、収益性は想定以上に改善。

【AI関連事業】

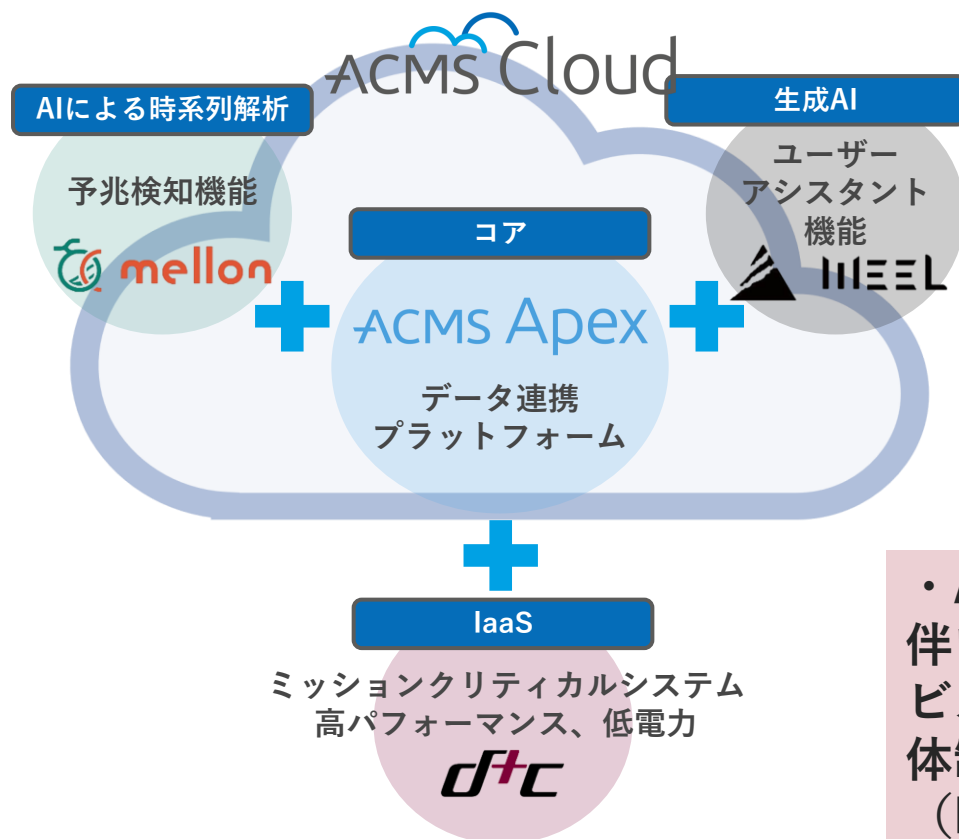
生成AI関連の旺盛な需要を背景に、売上は堅調に推移。人材強化やマーケティング費用等の先行投資を継続しつつも、生産性向上により収益性は改善傾向。追加案件の獲得も着実に進み、売上・利益の積み上げを実現。

グループ会社シナジーとACMS Cloud進捗

■ 顧客ネットワークの統合的活用

- ・ 協業案件の拡大
- ・ パートナー向けセミナーでの共同発信

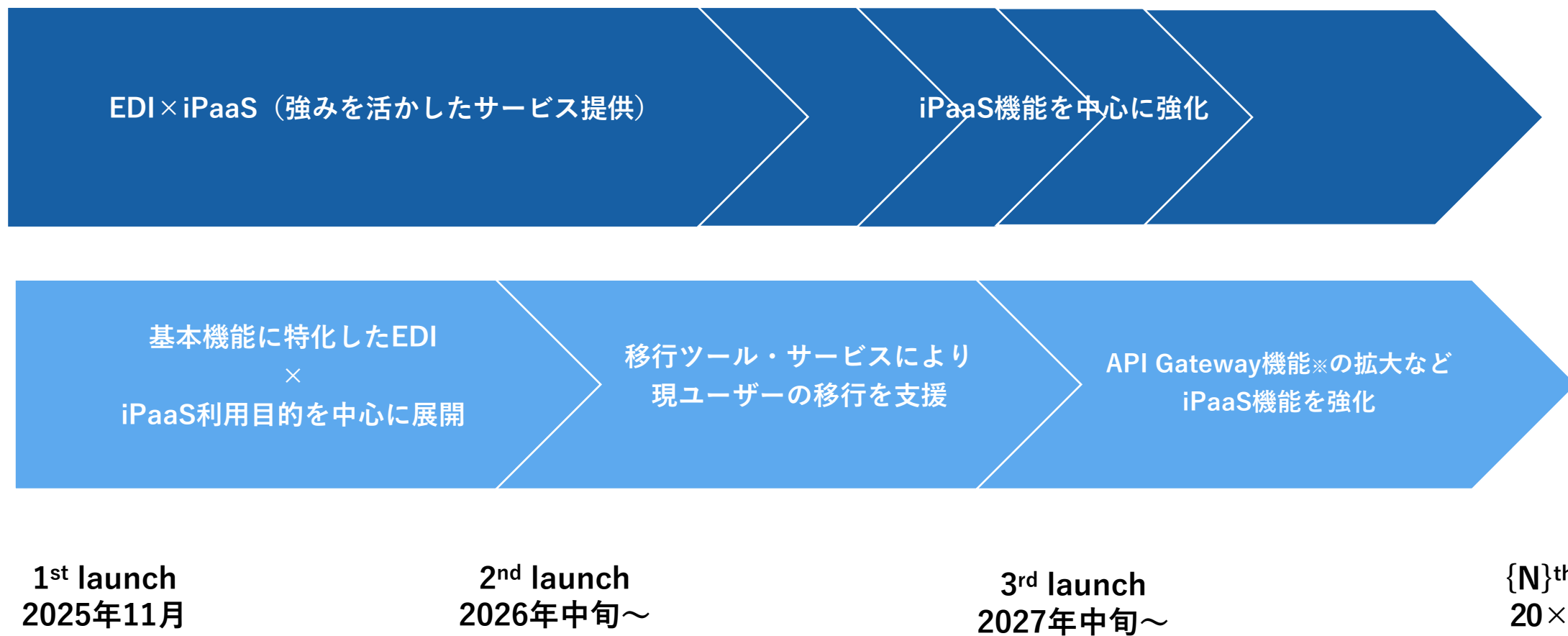
障害予兆をAIで検知する高精度モデルの開発を推進中。
(メロン社)

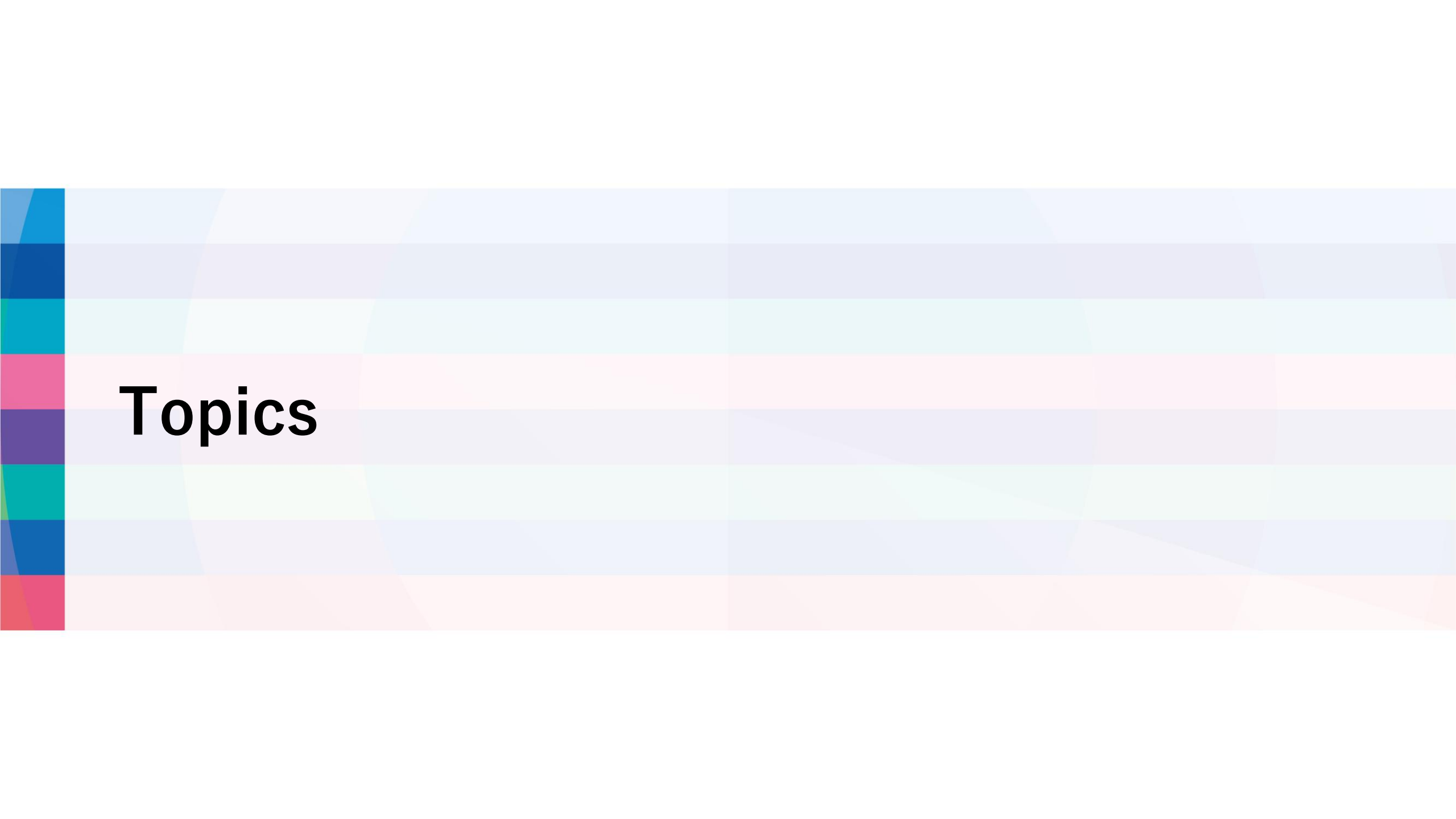


- ・ WebAPI設定作業を効率化する対話型支援アシスタント『WebAPI設定アシスタント』の設計・開発を推進中。
- ・ 業務改革とサービス品質向上を目的に、顧客サポート業務を効率化するAI Chatbotを搭載 (WEEL社)

- ・ ACMS Cloudの運用開始に伴い、運用監視を担当。サービスの安定稼働に向けた監視体制の構築と運用を進める。(DTC社)

■ EDI機能を備えたiPaaSという新領域を開拓



The background features a vertical bar on the left side composed of several colored squares: blue, dark blue, teal, pink, purple, teal, dark blue, and red. The rest of the background is filled with a grid of horizontal bands in various colors, including light blue, light purple, light green, light pink, light yellow, and light orange, creating a layered, geometric effect.

Topics

新中期経営計画（2026年3月期-2028年3月期）事業戦略

グループ全体の事業成長を担う三本の柱

事業領域の拡大・開拓

データ連携市場の更なる拡大

AIによるデータ利活用事業の展開

SI・インフラソリューションの拡大

SaaS市場への展開

収益安定性の向上

全ライセンスのサブスク化

サービス型ビジネスの拡充

グループ全体での業務効率の向上

グループ全体でのコスト最適化

人的資本経営の推進

優秀な人財の獲得

人財育成の強化

ウェルビーイングの推進

グループ内での人財の柔軟な活用



DIGITAL WORKの実現

Topics：事業領域拡大・開拓

■クラウド市場への拡張

データ連携ソリューションをクラウド型プラットフォーム「ACMS Cloud」を2025年11月にリリース

■カスタマーサクセス市場強化

ワークマネジメントプラットフォーム「Placul」のカスタマーサクセス業務に特化した新エディション「Placul - Customer Success Edition」を2025年10月にリリース

The logo for ACMS Cloud features the text "ACMS Cloud" in a dark grey sans-serif font. Above the "C" in "Cloud", there is a stylized blue icon consisting of two curved lines forming a cloud-like shape.

需要予測・発注最適化システム
KISS

事業領域の拡大・開拓

データ連携市場の更なる拡大

AIによるデータ利活用事業の展開

SI・インフラソリューションの拡大

SaaS市場への展開

The Placul logo consists of a stylized icon on the left, made of three overlapping curved segments in blue, orange, and green, followed by the word "Placul" in a bold, black, sans-serif font.

Topics：収益安定性の向上

■サブスクリプション化推進（P11参照）

全ライセンスのサブスクリプション化を加速、更なる伸長を目指す

■ サービス型ビジネス拡充

「ACMS Cloud」・「Placul - Customer Success Edition」・メロン社の「KISS」などサービス型ビジネスを拡充

■グループ全体の業務効率化と利益強化

効率化とコスト最適化により、利益体質を強化

収益安定性の向上

全ライセンスのサブスク化

サービス型ビジネスの拡充

グループ全体での業務効率の向上

グループ全体でのコスト最適化



Topics：人的資本経営の推進

■優秀な人財の獲得

ワンキャリア「就活クチコミアワード2026」において、特別部門「理系学生が選んだランキング」GOLDランク、ならびにエリア部門「関東ランキング」BRONZEランクに選出

■人財育成の強化

東洋経済オンライン「新卒3年後定着率の高い会社ランキング」に掲載

■多様な人財の活躍促進

ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み指標「D&I AWARD 2025」において最高評価「ベストワークプレイス」に認定

■ウェルビーイングの推進

従業員の健康維持・増進および働きやすい環境整備に取り組み、健康経営優良法人2026（大規模法人部門）に認定



人的資本経営の推進

優秀な人財の獲得

人財育成の強化

ウェルビーイングの推進

グループ内での人財の柔軟な活用



Topics：新中期経営計画（2026年3月期-2028年3月期）財務方針を変更

- 業績や財務状況に応じた柔軟な株主還元を可能とするとともに、資本効率の向上および中長期的な株主価値の向上を目的とし、中期経営計画で掲げている財務方針を見直し

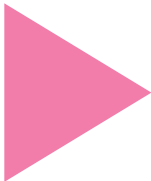
【変更前】

資本コストや株価を意識しつつ
株主還元の基本方針は変更せず
ROE目標値、配当下限額を設定

	毎期の水準
DOE	3.5%水準
配当下限額	25円
	2028年3月期 目標値
ROE	15%以上

【変更後】

資本コストや株価を意識しつつ、株主還元の基本方針を変更し、
より株主還元を強化するため、現中計期間に創出した利益については
配当および自己株式取得により総還元性向100%（フルペイアウト）を基本方針とする。
DOEはレンジで設定し、積極的な自己株式の取得を含む柔軟な株主還元策を検討



株主還元方針	
総還元性向100%（フルペイアウト）	
	毎期の水準
DOE	3.5%～5.0%水準
配当下限額	25円
自己株式の取得	積極的に検討
	2028年3月期 目標値
ROE	15%以上

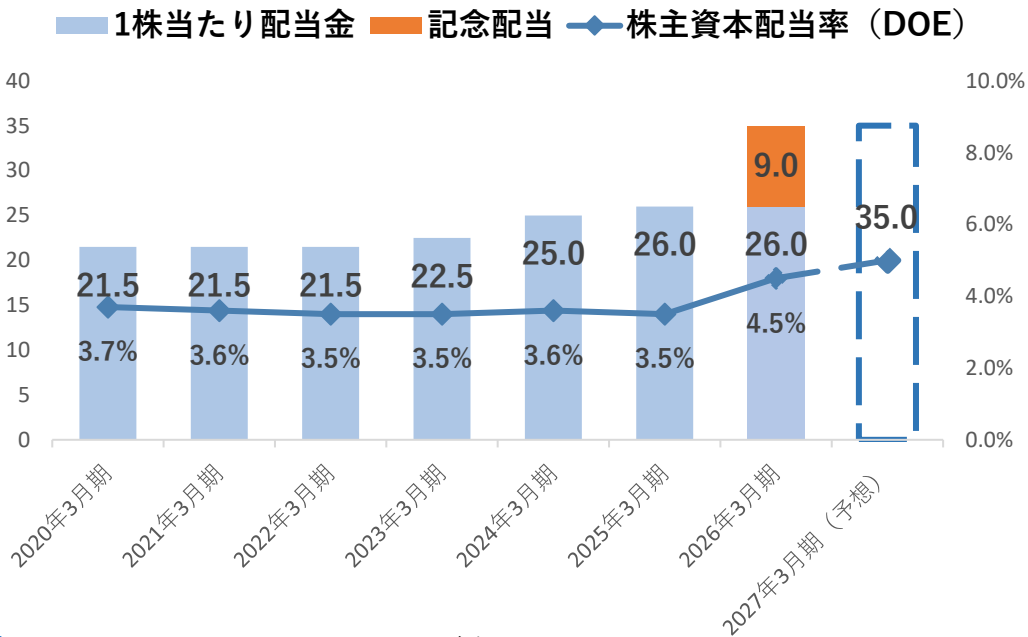
Topics：2026年3月期 剰余金の配当（2026年3月31日を基準日）

■ 株主還元方針

- 短期的な業績指標に基づくものではなく、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上を踏まえたものでありたいという考えのもと、株主資本配当率（DOE）3.5%～5.0%の水準を目安に配当を行う。2026年3月期の配当は、通常配当 26 円に加え、記念配当 9 円を加算し、**1株当たり35円00銭の剰余金の配当**を実施

1株当たり配当金と株主資本配当率
(DOE)

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月10日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	35円00銭	35円00銭	26円00銭
配当金総額	223百万円	-	162百万円
効力発生日	2026年5月29日	-	2025年6月2日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金



※詳細は2026年4月16日発表の「[中期経営計画における財務方針の変更および2026年3月期 剰余金の配当に関するお知らせ](#)」をご参照ください。

新中期経営計画（2026年3月期-2028年3月期）事業戦略

グループ全体の事業成長を担う三本の柱

事業領域の拡大・開拓

データ連携市場の更なる拡大

AIによるデータ利活用事業の展開

SI・インフラソリューションの拡大

SaaS市場への展開

収益安定性の向上

全ライセンスのサブスク化

サービス型ビジネスの拡充

グループ全体での業務効率の向上

グループ全体でのコスト最適化

人的資本経営の推進

優秀な人財の獲得

人財育成の強化

ウェルビーイングの推進

グループ内での人財の柔軟な活用



DIGITAL WORKの実現

Topics：2027年3月期連結業績見通し及び配当予想

増収要因：グループ化による事業拡大

増益要因：売上拡大による増収効果に加え、内製化推進・業務効率化によるコスト最適化が寄与。

グループインに伴う、人財への投資をより加速 (百万円)

	26/3期 実績	27/3期 計画値	前期比 増減率
売上高	4,322	5,000	+15.7 %
営業利益	276	280	+ 1.2%
経常利益	324	325	+ 0.3%
親会社株主に帰属する当期 純利益	156	178	+ 14.3%
EBITDA※	481	481	+ 0.1%

一株当たり配当金 35円 35円
(通常配当26円 + 記念9円)

※EBITDA = 営業利益 + 償却費 + 株式報酬費用
※前期比増減率は百万円未満を含めた実績・計画値を基に算出

Topics：IR活動

■ 投資家との対話を重視し、継続的な情報開示を通じて、透明性の高い経営を推進中。

日付	内容
2026/1/19	note記事公開「データ連携の未来を支える～DTCのグループインで広がる可能性～」
2026/1/19	note記事公開「データ連携の未来を支える～DTCのグループインで広がる可能性～」
2026/1/28	note記事公開「【イベントレポート】DX時代を支えるクラウド型データ連携プラットフォーム「ACMS Cloud」ー市場動向と成長戦略を語るアップデートセミナー」
2026/1/30	note記事公開「【変革期の営業を牽引する】ー営業副本部長が語る新市場開拓の最前線」
2026/2/9	note記事公開「営業グループマネージャーが語る新しい挑戦～チームづくりと社会への価値提供～」
2026/2/10	2026年3月期第3四半期決算補足資料 IRTV動画公開
2026/2/16	学生投資連合USIC主催「第10回IRプレゼンコンテスト」にて、早稲田大学とタッグを組み、「審査員特別賞」を受賞
2026/2/17	2026年4月1日付 役員および主要人事について 公開
2026/2/20	note記事公開「【信頼は距離を超える】鹿児島発、チームをつなぐ支援型マネジメント」
2026/2/24	投資系 YouTube チャンネル「1UP 投資部屋」の「銘柄勉強会（取材編）」が公開
2026/3/4	note記事公開「若手が語る、DAL営業のリアル～人と向き合い、データをつなぐ仕事～」
2026/3/18	2026年3月期第3四半期決算 質疑応答集公開
2026/3/18	note記事公開「【ナンバーワンよりオンリーワン】早稲田大学と挑んだIRプレゼンコンテスト、その舞台裏」
2026/3/19	株式会社シェアードリサーチによる企業分析レポート（2026年3月期第3四半期）更新のお知らせ
2026/3/25	note記事公開「【2026年3月期第3四半期決算のここを見てほしい！】～サブスクリプション型ビジネスへの完全移行推進中～」

The background features a vertical bar on the left side composed of several colored squares: blue, dark blue, teal, pink, purple, teal, dark blue, and red. The rest of the background is filled with a grid of horizontal bands in various colors, including light blue, light purple, light green, light pink, light yellow, and light orange, creating a layered, geometric effect.

Appendix

データ・アプリケーションとは？

企業内外のあらゆるデータのハブになり情報のインフラを作る
ソフトウェアパッケージベンダー



1.作業効率化

2.脱属人化

3.経費削減

4.データ利活用

「未来情報社会創造はひとりひとりの喜びから」

お客様ひとりひとりの喜びを私たちひとりひとりの喜びとし、
この喜びが未来情報社会を創造する力となる企業でありたいと考えています。
これを実現する為に、

革新や進歩を目指した経営を行います。

※常にお客様の声を受け止め、企業成長に果敢にチャレンジします。

社会及びお客様に対して貢献します。

※ソフトウェア製品の研究開発とサービスにより社会発展に貢献します。

※常に高い倫理観を持ち社会に対して責任を持ちます。

株主に対して貢献します。

※企業価値向上のための経営を行います。

社員の幸福を実現する経営を行います。

※社員が最も活躍出来る環境を用意します。

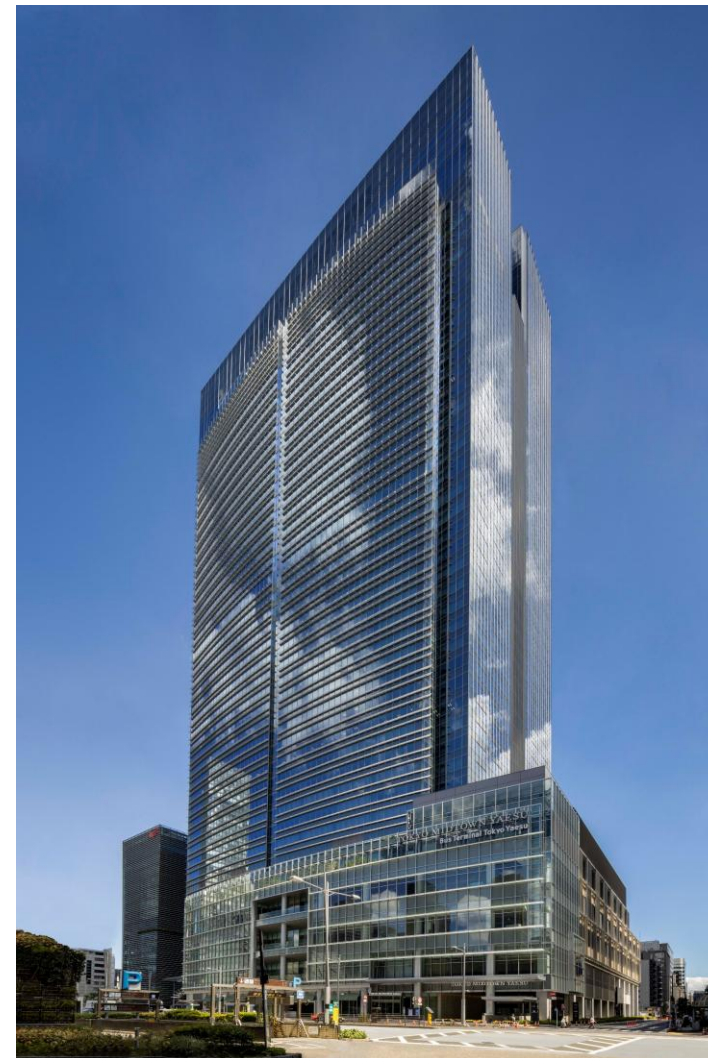
※社員と共に仕事を通じて喜びを分かち合います。

※各人の特性と個性を活かした活躍の場を用意します。

※社員に対し公平に処遇します。

会社概要

- ・ 社名 株式会社データ・アプリケーション
- ・ 証券コード 3848：スタンダード市場
- ・ 東京オフィス 東京都中央区八重洲2-2-1
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー27階
- ・ 鹿児島オフィス 鹿児島県鹿児島市武1丁目2-10 JR鹿児島中央ビル
- ・ 代表者 代表取締役社長執行役員 安原 武志
- ・ 設立 1982年9月27日
- ・ 資本金 430,895千円
- ・ 従業員数 連結：251名（2025年3月末現在）
単体：135名（2025年3月末現在）
- ・ 売上 4,322百万円（2026年3月期）
- ・ 事業内容 企業内外のデータ連携に関するソフトウェア開発と販売
およびコンサルティング
- ・ パートナー ビジネス・パートナー：55社（2025年3月末現在）
- ・ グループ会社 株式会社WEEL
デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社
株式会社メロン



グループ会社概要



株式会社WEEL

<https://weel.co.jp/company/>

生成AI を活用したシステム受託開発・コンサルティング、および AI メディア運営



デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社

<https://www.dtcom.jp/>

EDI（電子データ交換）/EAI（企業内アプリケーション統合）を基軸としたビジネスインフラソリューション、システムインテグレーションやサービス提供



株式会社メロン

<https://melloninc.jp/>

時系列解析技術やそれを組み合わせた大規模言語モデルに強みを有し同技術を用いた、データ 活用・分析に関連する AI 開発やソフトウェア開発

グループ会社動画

会社紹介 **IR TV**

東証スタンダード【3848】
データ・アプリケーション
株式会社メロン

DAL **mellon**
Data Applications Company, Limited

株式会社メロン会社紹介・新サービス紹介



会社紹介 **IR TV**

東証スタンダード【3848】
データ・アプリケーション
デジタルトランス
コミュニケーションズ株式会社

DAL **d+c**
Data Applications Company, Limited

デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社
会社紹介・自社サービス紹介



WEEL社も順次公開予定



ビジネスモデル

強力なビジネスパートナーを活用した間接販売

DAL



ビジネスパートナー



エンドユーザー



当社の強み

圧倒的な実績・製品力



EDIマーケットリーダーから
データ連携市場へ

データ連携を
ワンパッケージで



幅広いデータ連携が可能

強力なパートナー



販売代理店55社

安定成長ビジネスモデル



リカーリング事業比率
約7割超



研究開発型企业



技術者比率約5割超

沿革



1982年9月
創業

DAL

2007年4月
JASDAQ上場

2020年2月
東京都中央区京橋に移転
2020年4月
代表取締役社長 安原武志
就任

2022年4月
新市場区分
「スタンダード市場」移行

2023年12月
東京都中央区八重洲に
移転

2024年7月
株式会社WEELを子会社化

2025年4月
デジタルトランスコミュニケーションズ株式会社・株式会社メロンを子会社化

主力製品・サービス概要：DIGITAL WORKを実現するプラットフォーム

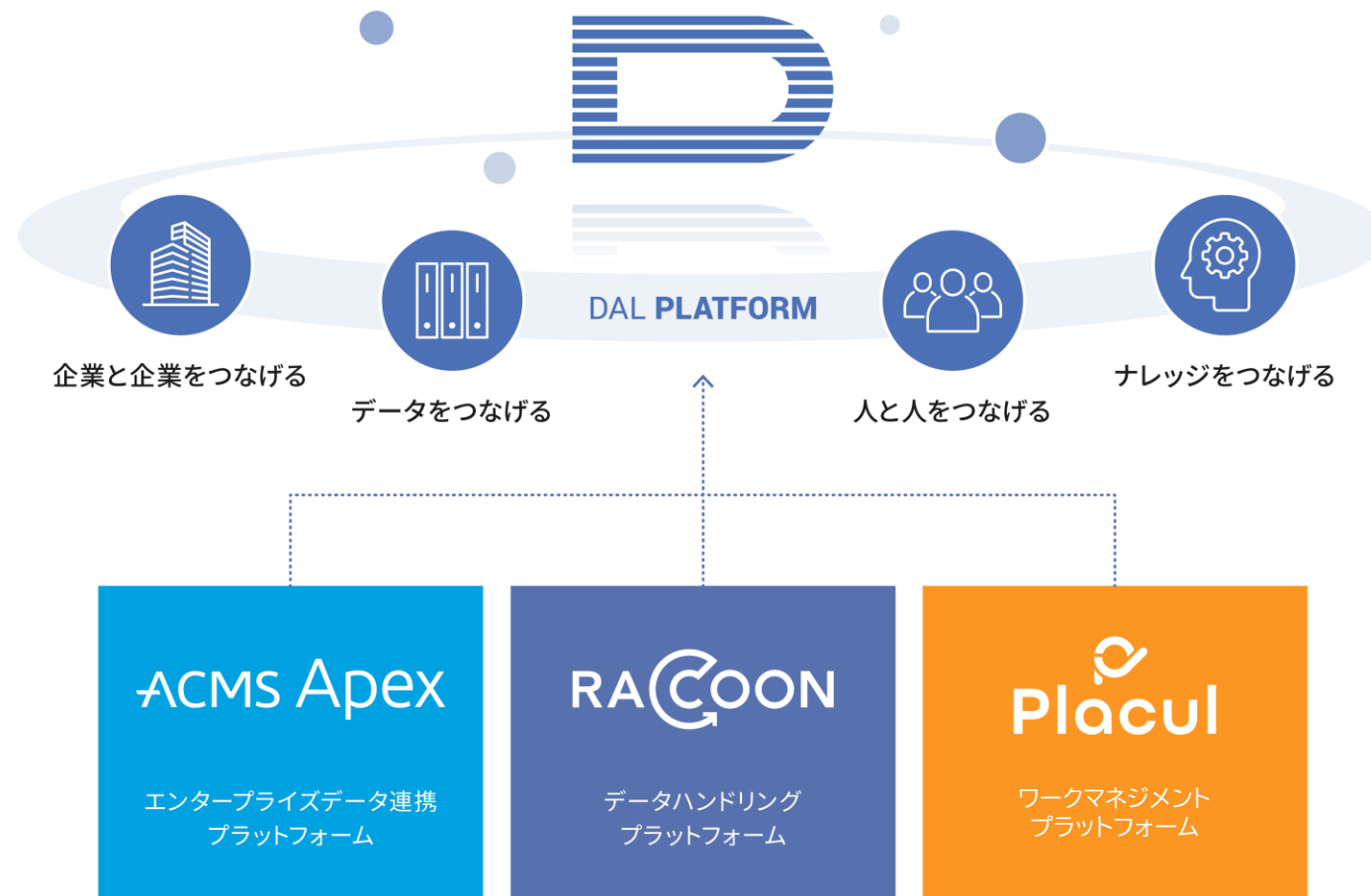
製品・サービス名	概要
クラウド型データ連携プラットフォーム 	企業間・社内システムをシングルプラットフォームで簡単に連携、手軽に始められるクラウド型データ連携プラットフォーム
エンタープライズ・データ連携プラットフォーム 	既存の業務アプリケーション資産を生かし、セキュアかつ可用性の高いデータ連携基盤を容易に構築できるソフトウェア
データハンドリングプラットフォーム 	データ連携や移行時のデータ加工・変換をノーコードで実現できるソフトウェア
ワークマネジメントプラットフォーム 	チーム協働業務の目標とタスクを通じてリモートワーク/ハイブリッドワーク課題を解決し、個々人の自律を支援するクラウドサービス

製品の歴史

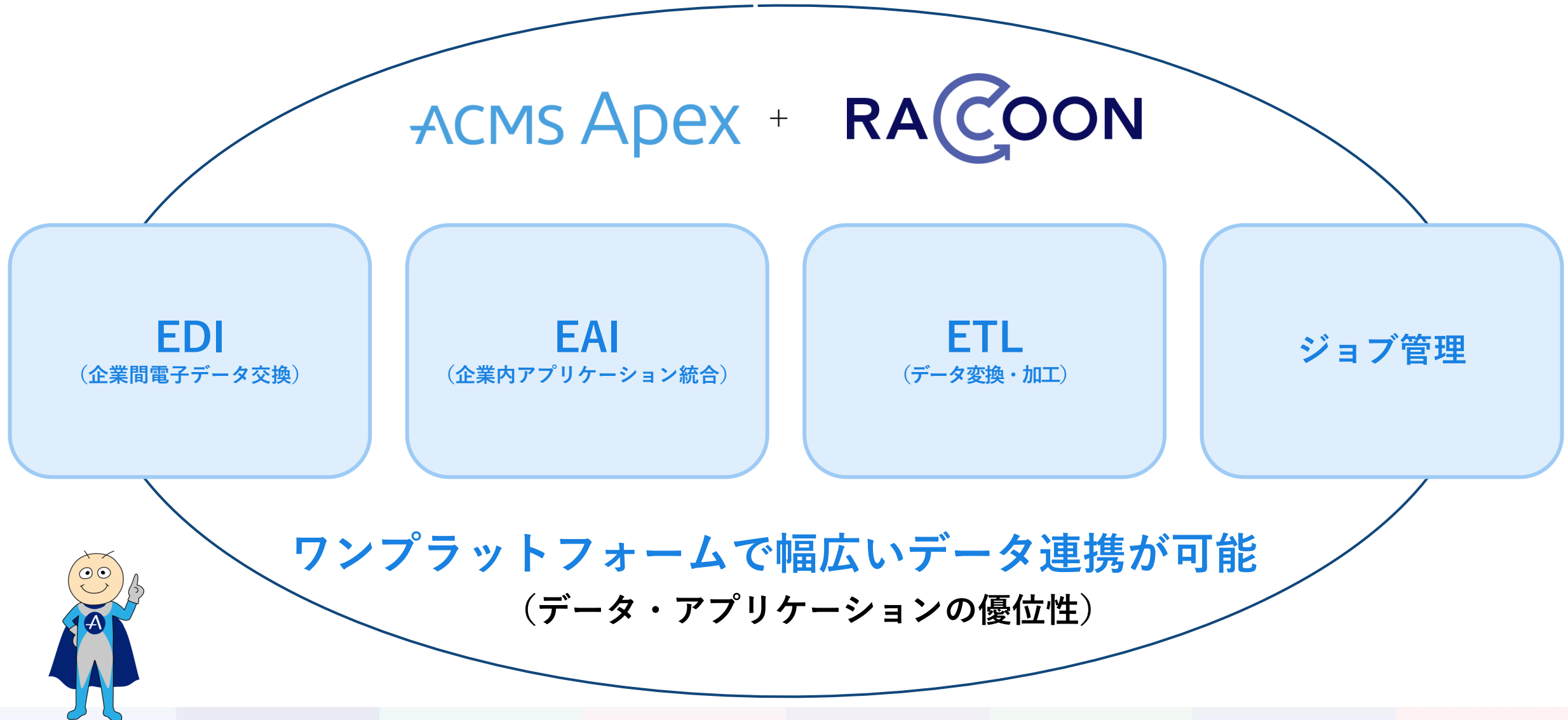
1988年3月	1992年11月	1996年4月	2002年5月	2005年12月	2013年9月
FTC用※ ネットワーク ソフトウェア	UNIX対応 EDI ソフトウェア	Windows NT対応 EDI ソフトウェア	Java採用 インテグレーション・ ソフトウェア	EAI機能追加 インテグレーション・ サーバ	エンター プライズ Web-EDI システム基盤
S-GARNET 販売	ACMS/UX 販売	ACMS/NT 販売	ACMS B2B 販売	ACMS E ² X 販売	ACMS WebFrame r販売
2014年3月	2016年6月	2020年8月	2024年7月	2025年10月	
データ ハンドリング プラット フォーム	エンター プライズ・ データ連携基 盤	文書データ 活用・EDI統合 ソリューション	ワーク マネジメント プラット フォーム	「導入・運 用・支援」 プラット フォーム	クラウド型 データ連携 プラット フォーム
RACCOON 販売	ACMS Apex 販売	OCRtran 販売	Placul 販売	「Placul(プ ラカル) - Customer Success Edition」 発 売	ACMS Cloud販売

※FTC:Fault Tolerant Computerの略 無停止型コンピュータ

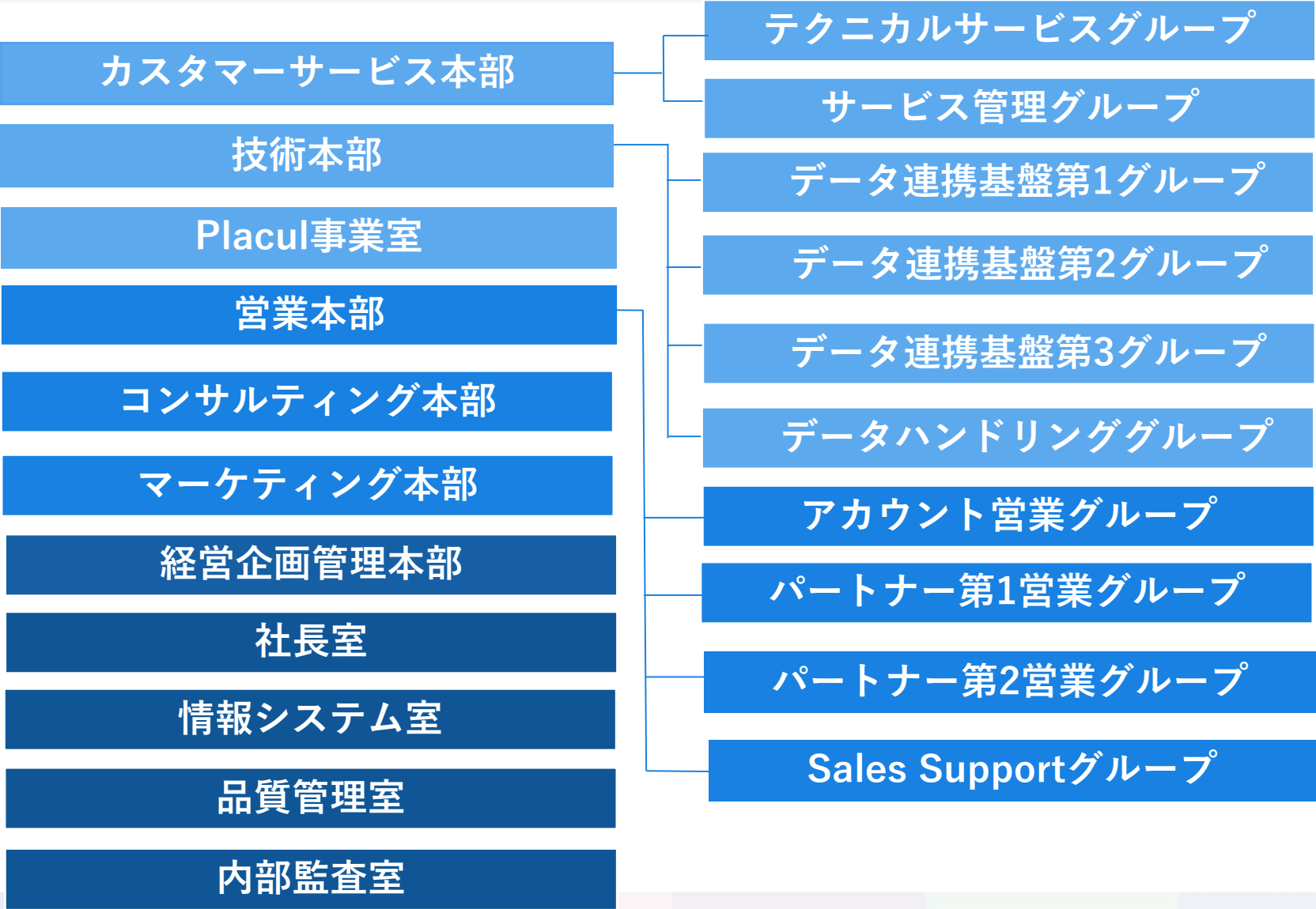
個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する



ACMS Apex ・ RACCOON製品コンセプト



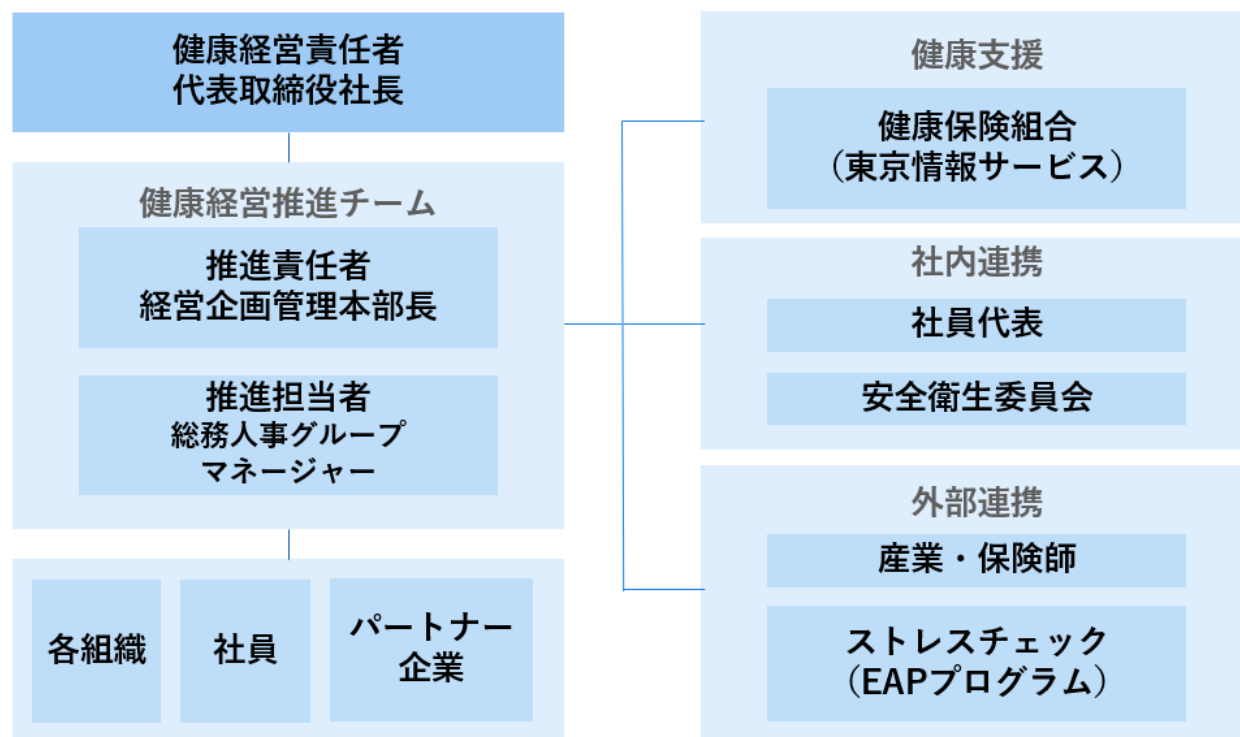
組織図（概略）



健康経営方針

当社は「個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する」をテーマに、企業の持続的成長と企業価値の向上を目指しております。

そのためには、優秀な人財の教育・育成、個々が働きがいや充足感を持つことのできる労働環境の整備が重要であると認識し、事業戦略の柱の一つに人的資本経営の推進を掲げており、この基盤となるのが従業員の健康です。



<体制図>

事業セグメント

Software Development
ソフトウェア事業

DAL

System Integration
システムインテグレーション事業

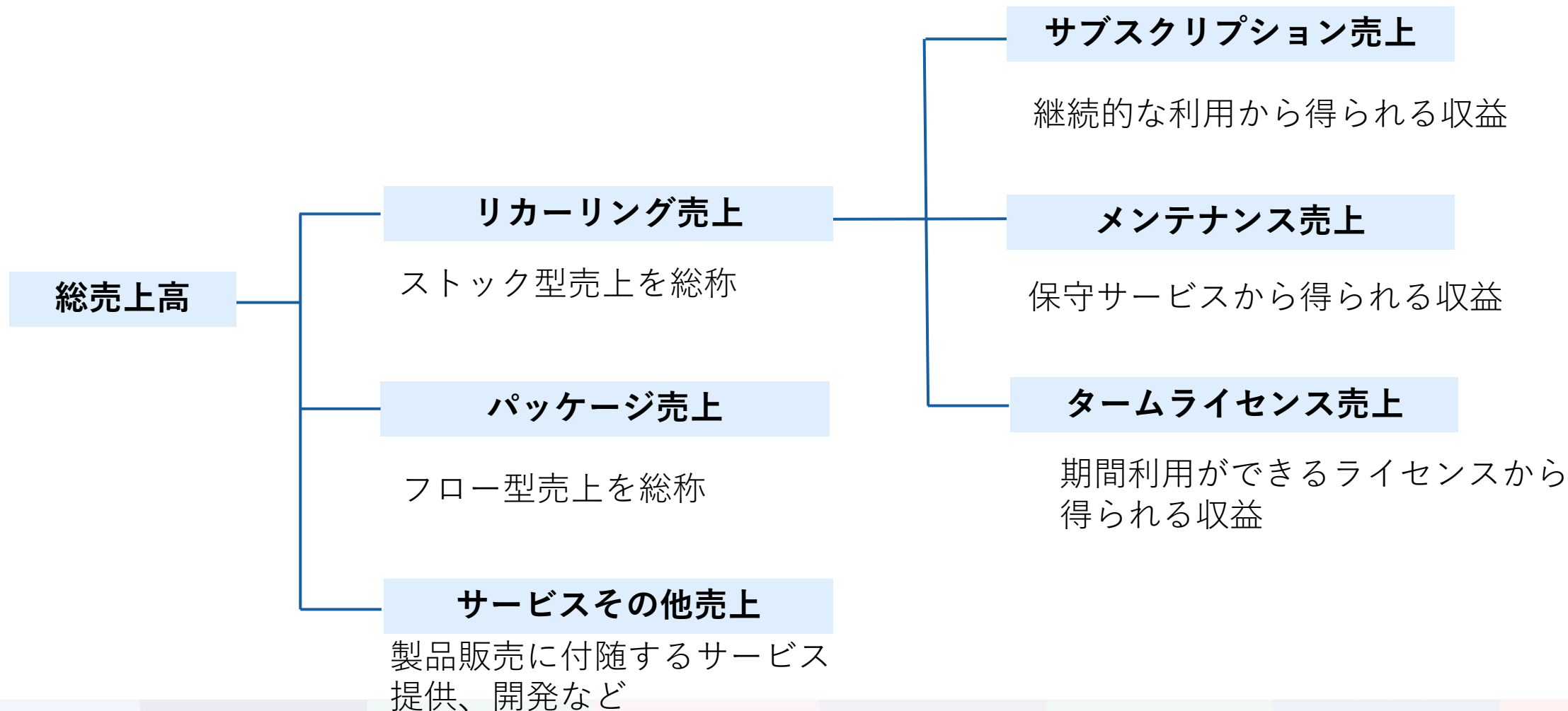
d+c

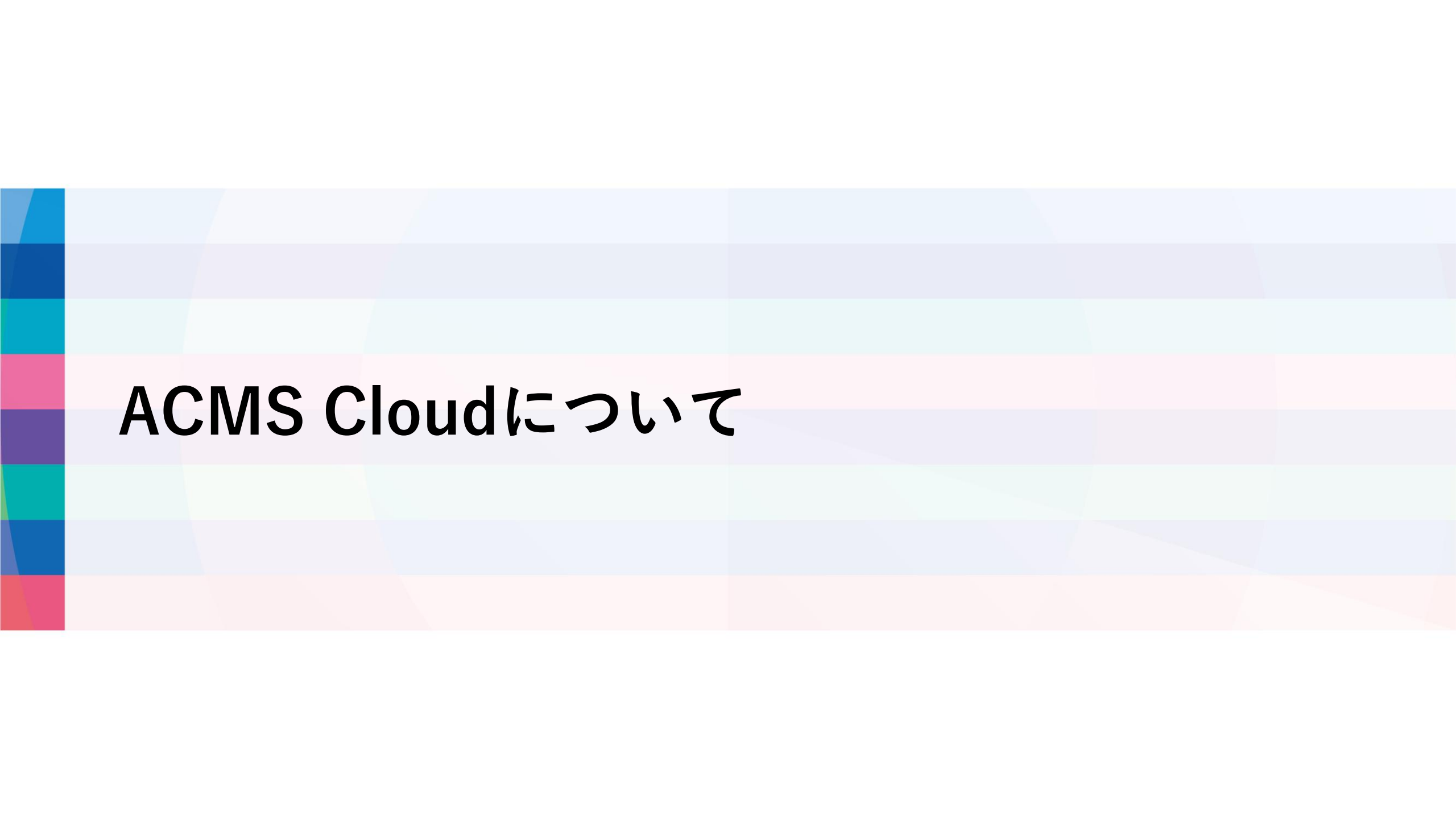
Artificial Intelligence
AI関連事業

III EEL  mellon

参考：販売方法による売上計上区分

- 当社では、販売方法により、以下のように売上計上を区分しています。

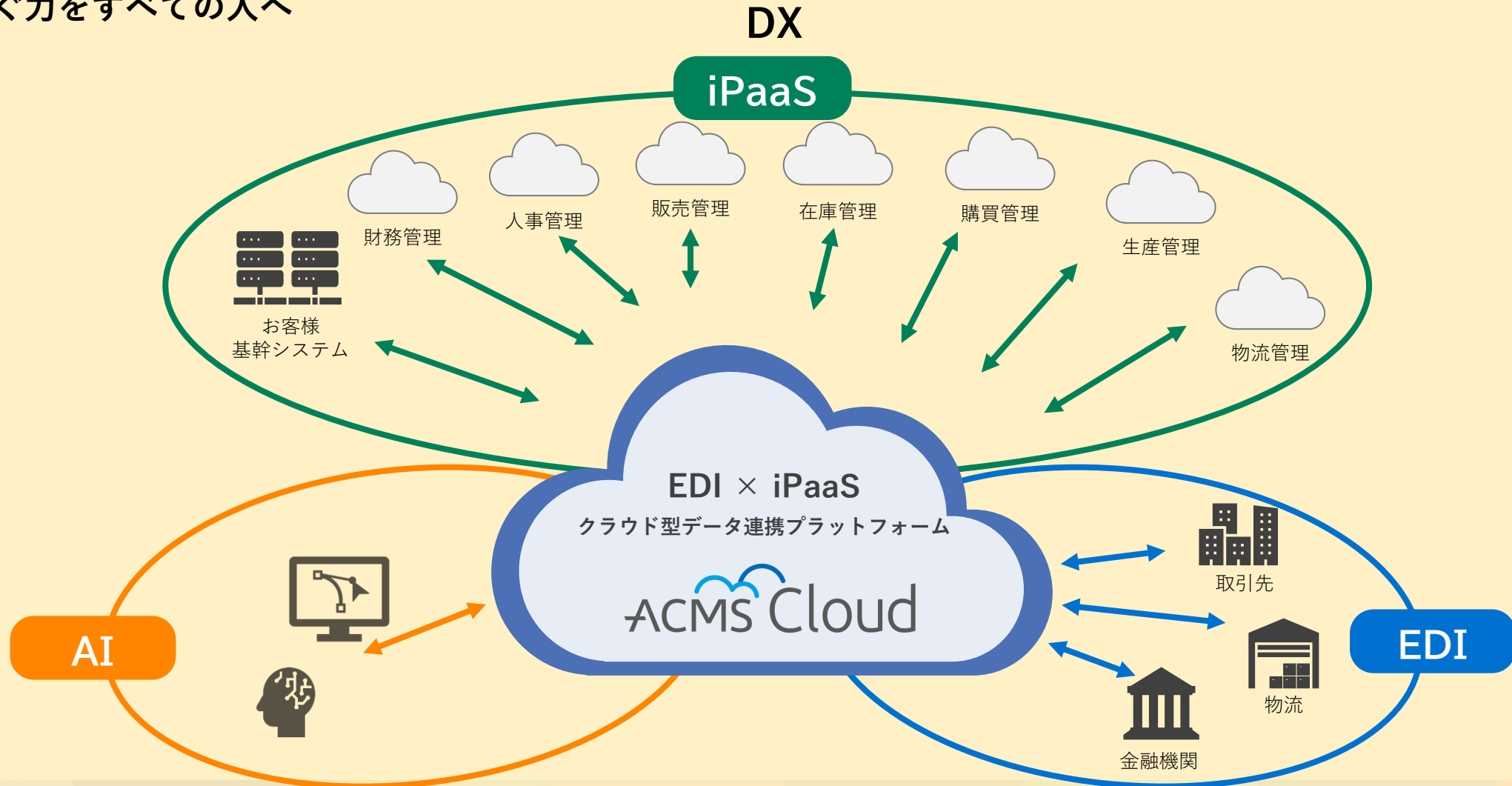




ACMS Cloudについて

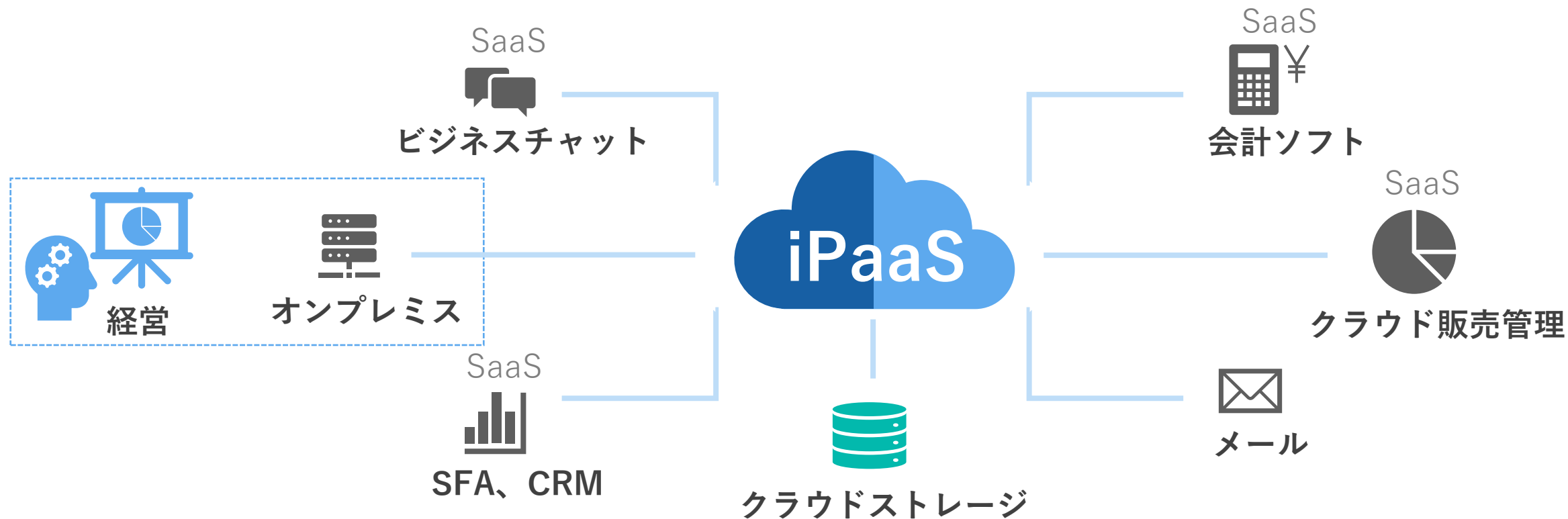
ACMS Cloud ・ 2025年11月リリース

■つなぐ力をすべての人へ



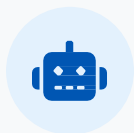
現場と経営をつなぐ新しい基盤

■ IT人材が限られていても、現場と経営が一体となってDXを推進可能



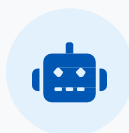
iPaaSとは、クラウド上で異なるシステムやサービスを“つなぐ”ための統合基盤です。
従来のEDIやETL、EAIの機能を包含し、APIやファイル転送、データ変換などを一元的に管理・運用できます。

つないだデータをもとに 顧客企業の事業ポテンシャルを最大化する



データ活用の民主化

専門知識に依存することなく、組織の誰もが直感的にデータを分析・活用できる、革新的で使いやすい環境を構築



AIによる業務革新

人的リソースをより価値の高い業務へシフトさせるため、AIが定型作業を代替・補完し、業務プロセス全体を抜本的に効率化してコスト最適化を実現



データドリブン経営支援

事業成長に不可欠な重要指標をリアルタイムで可視化し、データに基づいた戦略的な意思決定を迅速かつ確実に実行できるよう、全面的にサポート

この未来を支えるのがACMS Cloud

「データと一緒にワクワクする未来へ！」

データをつなぐだけでなく、企業が必要な形に加工、活用し、企業のみならず、人や社会に還元していく。

あらゆるデータの基盤には、私たちの製品があり、すべての人・社会がデータでつながる「データと一緒にワクワクする未来へ」。

それが私たちが実現していく未来です。

【IRに関するお問い合わせ先】

DAL

株式会社データ・アプリケーション

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-2-1東京ミッドタウン八重洲

八重洲セントラルタワー27F

E-Mail ir@dal.co.jp



公式サイト



公式Facebook



公式X



公式YouTube



公式note

※お問い合わせ内容の正確な記録および対応の一貫性を確保するとともに、公正な情報開示（フェア・ディスクロージャー）の観点から、IRに関するお問い合わせは【メールでの受付のみ】とさせていただいております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

※投資を行う際は、当社が作成する有価証券報告書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

- ・DAL、ACMS、ACMS Cloud、ACMS Apex、WebFramer、RACCOON、AnyTran、OCRtran、Placulは、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。